



交通安全だより

第29号 平成19年11月発行 札幌市交通安全運動推進委員会 Tel.211-2268

札幌市の交通安全 <http://www.city.sapporo.jp/kotsuanzen/>

交 通
安 全

セーフティさっぽろ

「冬の交通安全市民総ぐるみ運動」を 実施いたします11月21日(水)~11月30日(金)

夕暮れ時の歩行者
と自転車乗用中の
交通事故防止

路面状況に応じた
スピードダウンと
スリップ事故の防止

シートベルト&
デイ・ライト運動
の推進

飲酒運転の追放

各地域において、主要幹線道路を中心に街頭啓発を行うほか、市内大型店舗の協力により、店舗内で交通安全呼びかけが行なわれます。この機会に是非交通安全について考えてみてください。

札幌市交通安全指導員交通事故抑止緊急集会を開催いたしました

～多数のご参加ありがとうございました～

集会では、今年5月に児童3人が一度に重軽傷を負う痛ましい事故があった屯田地区の実践会会長である酒井茂氏より交通安全対策への取り組みや事故後の取り組みについて発表していただき、またスローライフ交通安全教育の会会長前田敏章氏（北海道交通事故被害者の会代表）からも、交通事故被害の重大性や、実体験を通じた交通事故抑止への思いなどの講話がありました。参加者約500名の交通安全指導員の方々は、交通事故の被害者や加害者にならないことは、自分や家族のためであることを強く認識し、交通事故を一件でも多く減少させようという決意を新たにしました。



交通事故抑止への
思いを訴える
前田会長



地域の活動事例
や指導員の心得
を話す酒井会長

交通安全パネル展を開催しました

冬の交通安全市民総ぐるみ運動を前に、11月12、13日の2日間大通地下街オーロラタウン内オーロラスクエアにおいて『交通安全パネル展』を開催しました。

- ・写真パネルによる地域の活動紹介
- ・夜光反射材の展示や配布
- ・飲酒運転の厳罰化の周知
- ・飲酒運転の恐ろしさを伝える「飲酒体験ゴーグル」コーナー設置

さらに、北海道交通事故被害者の会のご協力により、「いのちのパネル展」を同時開催し、多くの市民へ交通事故の悲惨さを訴えることができました。

市民の皆様より交通安全に対する多くの貴重なご意見・ご感想をいただき、今後の交通安全の取り組みについて改めて考えることができる機会となりました。ご協力ありがとうございました。



冬の踏切、危険がいっぱい!!!

(11月21日より踏切事故防止キャンペーンが実施されます)

冬期間の踏切事故は、夏期間の約2.5倍も発生しており、特に、12月から2月にかけては、年間発生件数の約半数と多発しています。

踏切事故は多くの乗客を巻き込む重大な結果を招く恐れがあります。

冬は特に、早めのブレーキとスピードダウンで、安全運転を心掛けましょう。



遮断ポールが降りきってから、約15秒で列車がきます!!!

踏切事故防止のために

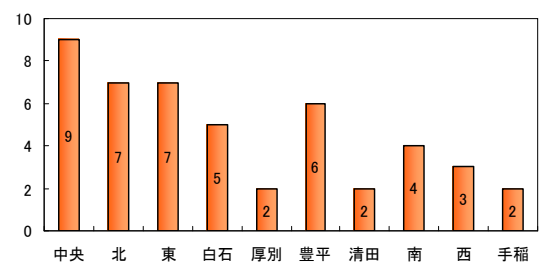
- ◆ 踏切に入る手前では必ず一旦停止し、自分の目と耳で安全を確認してください。
- ◆ 踏切内に閉じ込められたら、遮断ポールを自動車等で押し出して脱出してください。
- ◆ 踏切で車が動かなくなったら、非常ボタンか発炎筒で列車を止める手配をしてください。

札幌市の交通事故による死者数前年比

平成19年11月18日現在

	札幌市	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲
死者	47	9	7	7	5	2	6	2	4	3	2
前年比	10	4	4	-1			6		-5	1	1

※全道の死者数 260人 前年比17



後部座席のシートベルトの着用も義務化されます!